

2025年日本国際博覧会児童・生徒招待事業 臨時説明会

令和6年7月4日

大阪府教育庁

■本日のご説明内容

- 「2025年日本国際博覧会児童・生徒招待事業」におけるチケットの整理
- 来場に向けた今後のスケジュール(予定)について
- 主要な調整事項に係る対応状況について
- 2025年大阪・関西万博への来場意向調査について

「2025年日本国際博覧会児童・生徒招待事業」におけるチケットの整理

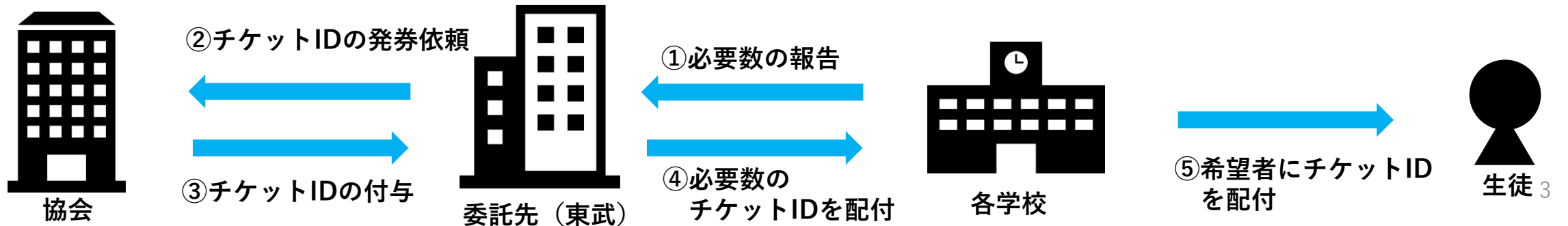
◆ チケット種別

	券 種	チケットの形式	万博IDとの紐付け
来場する学校・学年等	学校団体割引券	チケットID	不要 ※高校生は紐付けを想定
来場しない学校・学年等 欠席者	子ども招待1日券	チケットID (プロモーションコードから変更)	必要

◆ チケットに関する用語の説明

万博ID	チケットID	プロモーションコード
<ul style="list-style-type: none"> ○万博関連サービスに共通で使用するログインID。 ○個人が取得した万博IDにチケットIDを紐づけて、QRコード化して来場。 ○個人で行きたいパビリオンを予約する場合は、万博IDが必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ○万博IDと紐づけることで有効化される10桁の英数字。 ○学校団体割引券は万博IDと紐づけることなくQRコード化して来場が可能。 <p>〔ただし、例えば高校生が個人でパビリオンを選択できるようにする場合は、個人で万博IDを取得する必要がある。〕</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○公式販売Webサイトでチケットを購入する際に、1回のみ使用可能な代金精算を割引くためのコード。

◆ 来場しない学校・学年等や欠席者向け「子ども招待1日券」の配付フロー



来場に向けた今後のスケジュール(予定)

時期	予約状態	内 容
(R6) 7月 ～ 10月	仮受付	<p>【来場日時・交通手段関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 入場日、交通手段の確認を実施。 ◎大阪メトロの希望については、ご希望を踏まえて調整予定。 ◎駅シャトルバスの希望については、ご希望を踏まえて調整予定。 ◎貸切バスの希望については、支援学校と小学校低学年から割当てを行い、以降、順次学年や所要時間の長さを考慮して割当てを実施。第3希望日まで割当てが困難な学校は、「バスの割当てが可能な日への変更」「交通手段の変更」「来場希望の取り下げ」についてご意向を確認。（検討期間は約2週間を想定） <p>貸切バスが割当てられた学校には、バス会社より見積書が届くので、10日以内に利用について検討の上、教育庁システムより回答頂く予定。</p>
11月 ～ (R7) 3月	10/13以降 仮予約	<p>【団体休憩所・団体パビリオン・乗降場及び駐車場関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 10/13より稼働する団体予約販売Webサイトに来場日時等が反映され、仮受付から仮予約へ移行。団体休憩所・団体パビリオン・乗降場及び駐車場のシステム入力を経て本予約となる。 ⇒ 本予約後にチケット（ORコード）を出力（配布方法は検討中）
(R7) 4月 ～ 10月	本予約	<p>【在籍/実績人数報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新年度の在籍者を報告。 - 来場 - ・ 来場後、当日入場実績を報告。 当日欠席者にチケット配布希望を確認の上、子ども1日券を配付。

◎来場日時・交通手段の調整後、改めて説明会を実施予定です。
◎また、重要な情報については、適宜、情報提供いたします。

学校単位訪問の意向変更について
◎希望の取り下げは本予約成立までは可能です。

◎意向調査の回答を「希望する」に変更する場合、入場枠確保に向けて、可能な限りサポートいたします。

◆ 主要な調整事項に係る対応状況について

項 目	対応状況
体験できるプログラムの詳細	<p>○10月13日からの団体予約販売Webサイトのオープンに向け、順次、パビリオンに関する詳細な情報が示される見込み。</p> <p>○本事業で確実に体験できる複数の選択肢を年代（小学校低学年・高学年、中学生等）に応じて提示いただけるよう、協会と調整中。</p>
貸切バスの台数の充実	<p>○意向調査による需要と、貸切バスの供給力を踏まえ、より多くの学校へ貸切バスを割当てられるよう、台数の充実に向けた調整を進めている。</p>
メトロ利用時における混雑回避や安全対策	<p>○「大阪・関西万博 日帰り教育旅行の輸送に関する検討会（万博局・協会・鉄道事業者等）」において、駅構内のスムーズな移動や混雑回避に向けた対策を検討中。</p> <p>○切符の受け渡しや精算方法等は学校の負担軽減となる手法を調整中。</p>
バス乗降場から西ゲートまでの移動	<p>○小学校低学年及び支援学校生の負担軽減に向けた取組みを検討中。</p>
昼食及び休憩場所の確保	<p>○これまで示されていた2000名収容の「団体休憩所」に加え、複数の昼食可能な休憩所の増設を、協会において調整中。</p>
会期前の下見	<p>○学校行事の催行に不可欠な引率教員による会場の下見について、開幕後は可能。万博開幕前においても、十分な機会を設けるよう、協会に申し入れているところ。</p>
災害時の避難や緊急時の対応	<p>○メタンガスへの対応については、先日(6/24)会期中の安全策が示されたところ（別添）。その他、災害時の対応など想定される様々なリスクに対する対応計画の早急な取りまとめが夏頃に示される予定。</p>
医療的配慮や救護室等の環境整備	<p>○医療的ケアを必要とする児童・生徒が、安心・安全に過ごすために重要な救護所やトイレなど、会場内の設備に関する早期の情報提供を、協会に申し入れているところ。</p> <p>○医療的なケアを要する児童への付き添い等、当該児童の参加に不可欠なスタッフ等を含め、入場料を無料とする方向で調整中。</p>

会期中の安全対策（メタンガス等）について

- ・グリーンワールド工区（一般廃棄物・上下水道汚泥等の埋立地）の建物の地下ピット内でメタンガスを検知したのは、東トイレ、西トイレのみ。東トイレは基準値超の濃度（※1）を計測（別紙1参照）
- ・パビリオンワールド工区（浚渫土砂・建設発生土等の埋立地）でのメタンガス検知は5箇所のみ
- ・測定結果を踏まえ、メタンガス等（※2）の発生に対し、以下の会期中の安全対策を実施します
 - ※1労働安全衛生規則による坑内労働者の退避、火気使用停止等の基準濃度（1.5vol%(30%LEL)）
 - ※2メタンガス、一酸化炭素、硫化水素、二酸化炭素、アンモニア

1. グリーンワールド工区の新たなハード対策

①東トイレ、西トイレにおいて以下の対策を実施（別紙2参照）

- ・便器や配管周囲にシール等を設置し、隙間を埋め、地下ピットからのガス侵入を防ぐ
- ・地下ピット、天井内に侵入したガスについて、機械換気設備を設置し、強制換気
- ・地下ピット、室内、天井内にガスの滞留状況を計測するためのガス検知器を設置

※その他の建物についても、上記を基本に、今後の濃度測定結果に応じて、換気設備能力や検知器の設置場所・数量等の対策内容を決定

②屋外の地下埋設構造物での対策

- ・雨水排水、電気設備等マンホール等の蓋の有孔化等を行い、滞留するガスを排出

※パビリオンワールド工区は、低濃度ガスが検知された地下鉄工事上部エリア、グリーンワールド工区近接エリアで、ガス濃度測定を重点的に実施し、その結果を踏まえて同様の対策を実施

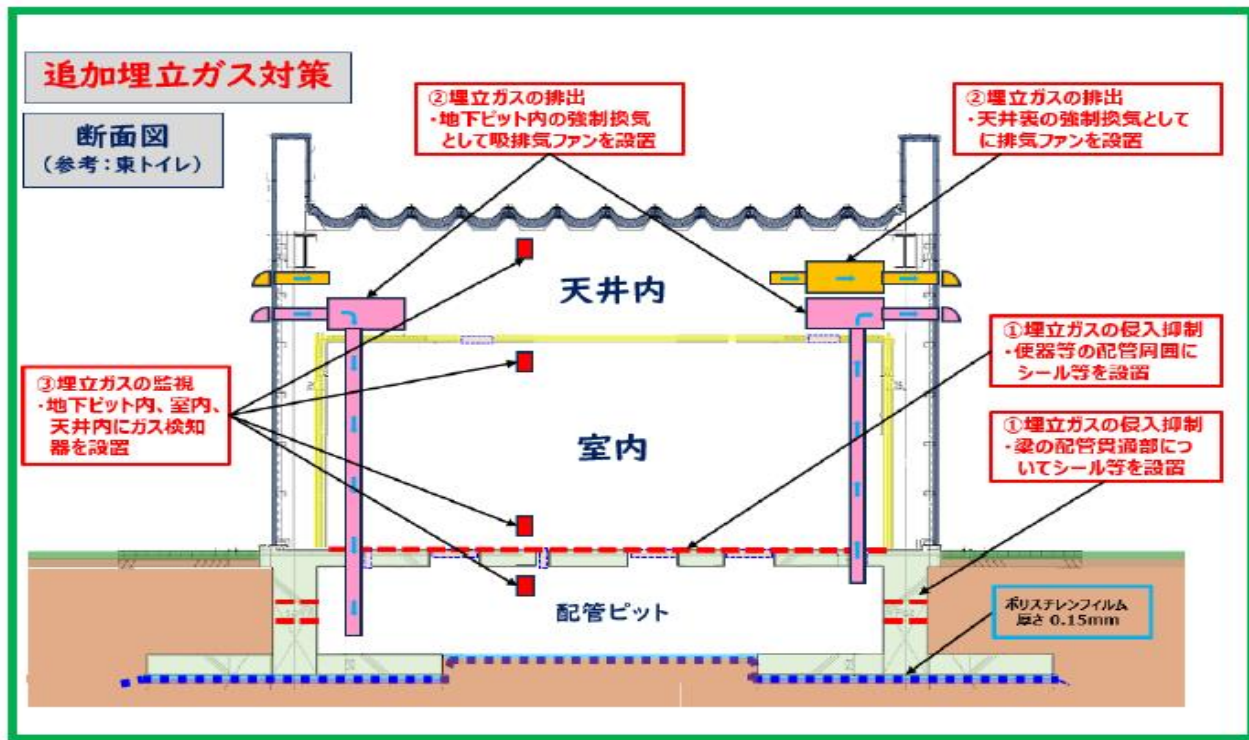
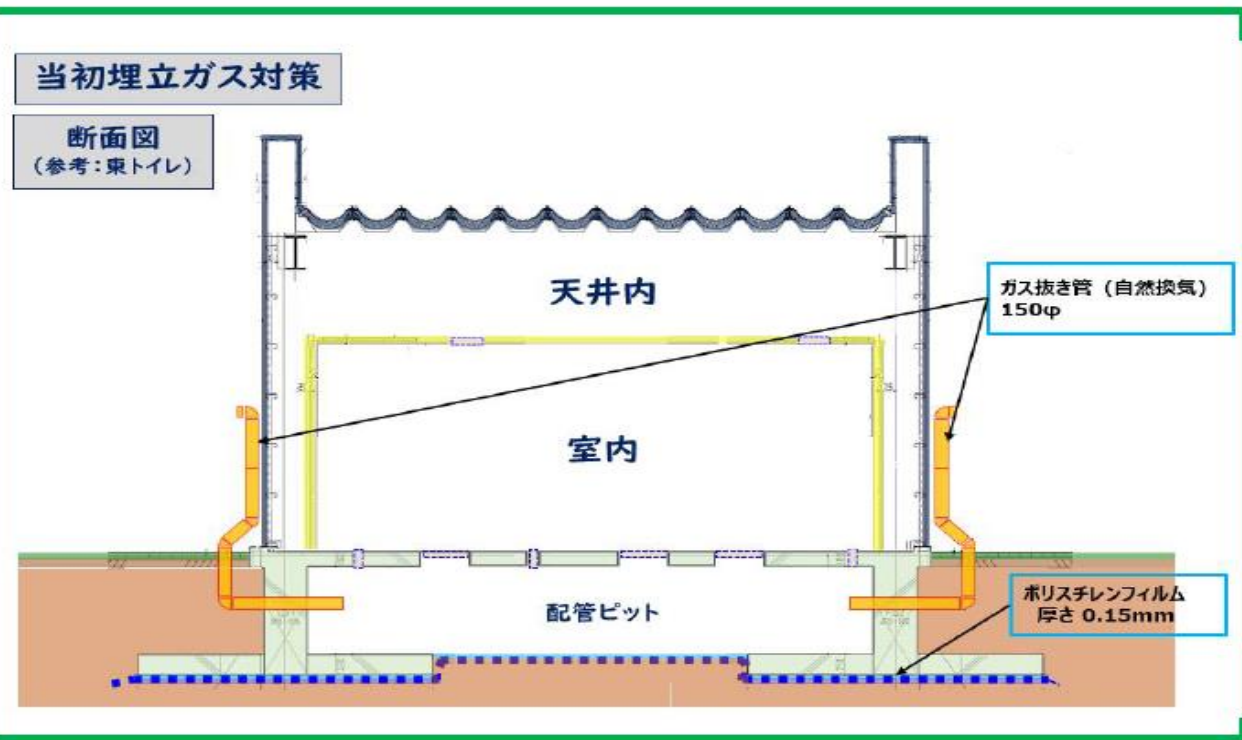
2. グリーンワールド工区、パビリオンワールド工区のソフト対策

- ・博覧会協会がガス濃度測定を継続的に実施し、ガスが検知された箇所で換気を実施
- ・博覧会協会HPにて、測定値を毎日お知らせすることを検討。来場者等がわかりやすい公表内容もあわせて検討（工事期間中も、測定結果を定期的に公表）

<別紙1：メタンガス測定結果>



<別紙2：会期中のグリーンワールド工区（東・西トイレ）のガス対策>



※その他の建物についても、上記を基本に、今後の濃度測定結果に応じて、換気設備能力や検知器の設置場所・数量等の対策を実施

2025年大阪・関西万博への来場意向調査について

調査対象：府内の小学校・中学校・高等学校・支援学校（国立私立学校含む 約1,900校）

対象児童・生徒数：約88万人

調査期間：令和6年4月19日から令和6年5月末まで

調査項目：来場希望、来場日時、来場手段（貸切バス・大阪メトロ・駅シャトルバス）等

- 5月末締切後、いただいた回答の来場希望登録の入力漏れ等をチェック中。
- 7月10日（水）以降、各市町村教育委員会には、以下の項目を含む市町村ごとのデータを提供予定。

（提供予定データの例）

学校名、来場予定学年、来場予定生徒数、団体休憩所の利用希望、希望来場日（第1～第3希望）、希望入退場時刻、希望来場手段



- ①貸切バス（希望バス台数、駐車場予約希望等）
- ②大阪メトロ（メトロ乗車駅、乗車駅出発時刻、中央線乗換駅等）
- ③駅シャトルバス（乗車希望バス停、降車希望バス停等）